

**製品名: IRF3 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21447**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:47kD;Observed MW:55kD

**抗原情報**

遺伝子名	IRF3
別名	Interferon regulatory factor 3;IRF-3;
遺伝子 ID	3661.0
SwissProt ID	Q14653
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

**背景**

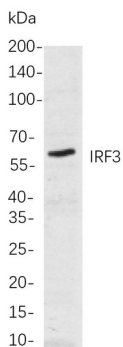
細胞局在: 細胞質、核。この遺伝子は、インターフェロン制御転写因子 (IRF) ファミリーのメンバーをコードする。コードされているタンパク質は不活性な細胞質型で存在し、セリン / スレオニンリン酸化を受けて CREBBP と複合体を形成する。この複合体は核に

移行し、インターフェロン $\alpha$ および $\beta$ 、ならびに他のインターフェロン誘導性遺伝子の転写を活性化する。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが観察されている。[RefSeq 提供、2011年11月]

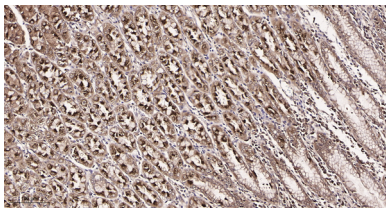
## 研究分野

-

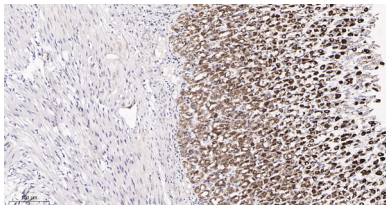
## 画像データ



IRF3 ウサギ mAb を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト胃組織の免疫組織化学分析。1、IRF3 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋ラット胃組織の免疫組織化学分析。1、IRF3 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。